

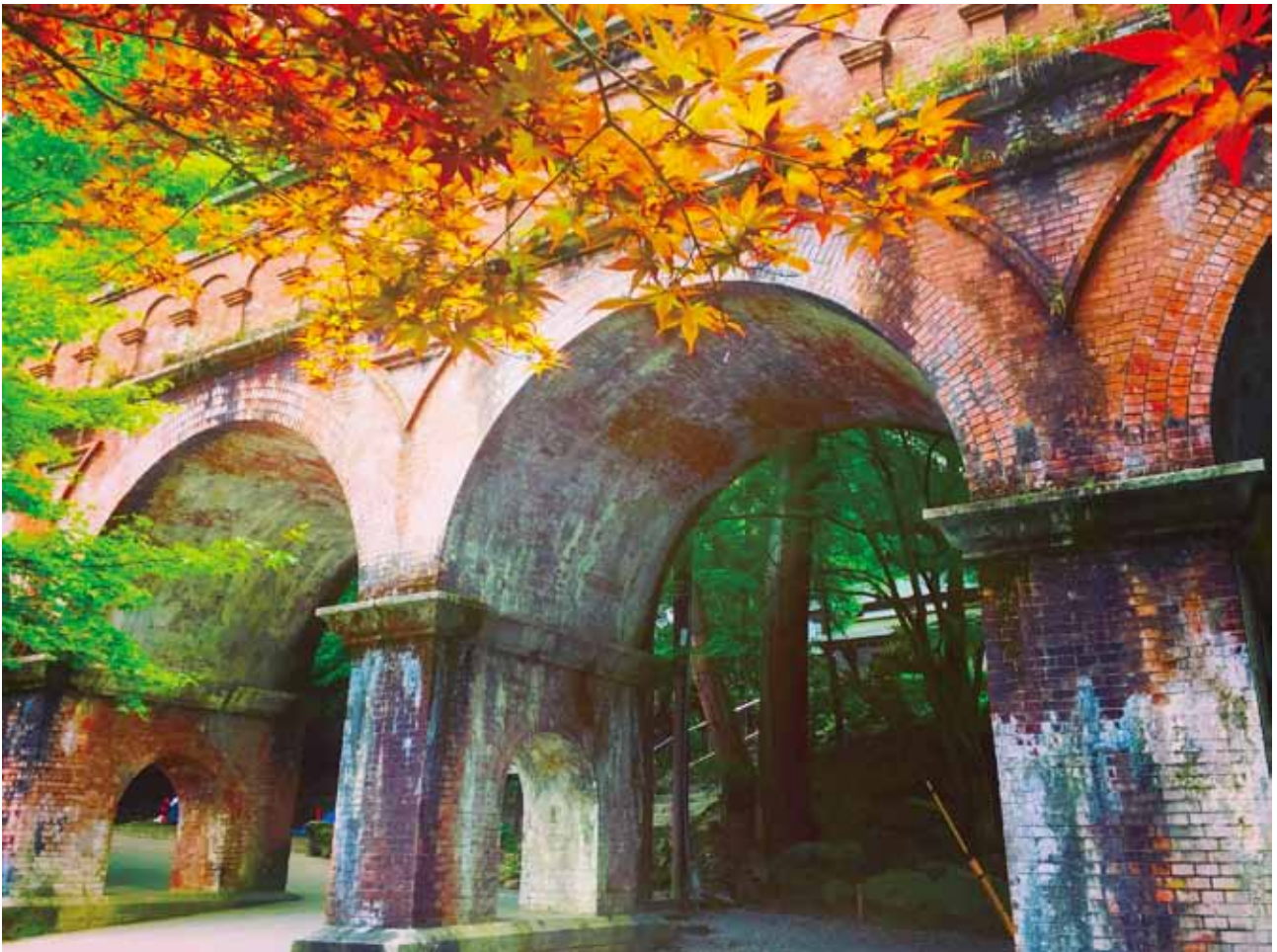


しんわ

No.151

秋季号
2025年

I H I
播磨病院



- * 大阪万国博覧会見聞録
- * 矢野荘れんげ米作り
- * 第75回日本病院学会に参加して
- * 新人紹介



大阪万国博覧会見聞録

理事長・病院長 西川 梅雄

I. はじめに。

1970年、昭和45年に大阪万国博覧会が開催されたことをご存じでしょうか？私は当時まだ中学生で友人と共に約3回行きました。アメリカ館の「月の石」くらいしか覚えていません。並んで長時間待つ必要のないパビリオンが幾つかあって、確かアブダビという国（アブダビ酋長国）が中東にあることを初めて知りました。

あれから半世紀以上過ぎ、今年令和7年、西暦2025年1月18日（土）。大阪府吹田市にある万博記念公園へ行ってみました。自然文化園と日本庭園などがあります。往時をしのぶのは「太陽の塔」（写真①）。これに入るのは予約が必要で、自然文化園、日本庭園と太陽の塔入館料のセットで930円。

当時太陽の塔には入れなかったもので、半世紀ぶりのリベンジでした。レストランも数か所あって、結構広いので日ごろの運動不足を補うにはよい所でした。隅々までゆっくりうろつく1日は過ごせます。



写真① 太陽の塔。

II. 本題。今年の大阪万博へ行ってみました。まずチケット購入。実は開催前の4月初旬、1回位行くだろうということで7月まで入場可能の前売り1日券を購入しました。スマホで購入してカードで決済する…と言えば簡単なようですが、このデジタルチケット購入するのが結構面倒くさいのです。購入できてほっとして、放置していました。7月半ばになって思い出してまず行く日を決めようと思いました。学生の夏休み前に行くべしと思って7月20日ごろの予約をするのですが取れません。よく見ると入場券の期限が切れていました。もちろん入場料金払戻不可でした。1枚目の入場券は寄付と思って新たに購入しなおしました。トホホ。

今度は購入直後にとりあえず9月5日に入場日を決めました。次に入場する東か西のゲートを決めます。東は大変混雑するのでわざわざ西ゲートへ回ることに

しました。そのため最寄りのJR駅からシャトルバスに乗らねばなりません。このチケットが予約でなかなかとれません。結局環状線弁天町駅前発のバス予約がとれました。次に西ゲートからの入場時間ですが、これも予約が必要です。

本来1日券なので何時からでも入れるはずだがそうではなく、入場も予約がいるのです。結局10時から入場の予約がとれました。しかし9時ごろにはゲート前についておかねば1時間ぐらい入場に時間が必要です。

いよいよ当日、なんと台風で大雨。7時ごろ家を出る。最寄りの駅まで5分くらいですが、ひざから下が濡れてビショビショになりました。先が思いやられました。休み（閉館）になるかとも思いつつ会場へ向かいました。幸い天気は良くなってきて、とにかく9時ごろに西ゲートに到着。入場する際に一人一人に、飛行場と同じ要領で荷物チェックを受けるのです。10時半ごろやっと会場に入れました。待つために折り畳み式の椅子（写真②）を持って行ったのが良かったです。何だか入場するだけで一苦労でした。



写真②
長時間待つための折り畳み椅子。

入場後とりあえずミャクミャクを見つけて写真撮影（写真③）。

たまたま近くのパビリオン「未来の都市」（写真④）が予約なしで40分ぐらいの待ち時間で入れました。



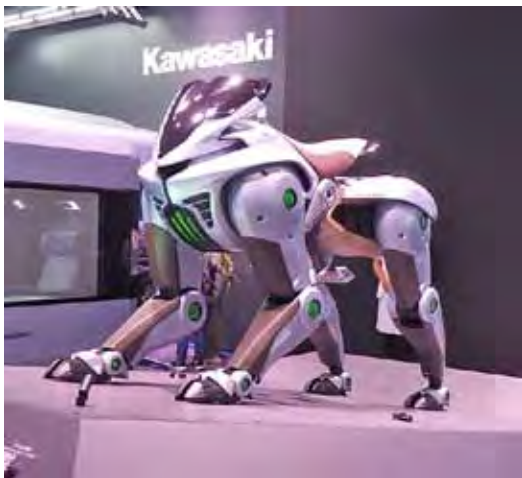
写真③
2025大阪万博と言えばミャクミャク



写真④
未来の都市パビリオン：日立、川崎重工、IHI等
日本企業の名前がある。

12の日本企業・団体が最新技術を紹介していました。川崎重工の未来のバイク？（ロボット馬みたいなやつ。写真⑤）が格好は良かったが乗り心地悪そうでした。なんとIHIも小規模ながらアンモニアをエネルギーとする展示ブースを出していました（写真⑥）。

その後ガンダムパビリオンの前（写真⑦）を通り過ぎて、木造大屋根リング（写真⑧）の上を全周の3分の1ほど歩き、フードコートでアイスを買って食べてたら、通路で食べたらダメと言われ追い出されました。その後はただただ大屋根リングの内側をうろついていました。



写真⑤ 未来のバイクは4つ足？



写真⑥ IHIブース。アンモニアを燃料に。



写真⑦ ガンダムパビリオン前
の実物大？ガンダム。



写真⑧

大屋根リングの骨組み。結構太い木材が使われている。高さもビルの3階建て以上はあるかも。世界最大の木造建築物。高さ約20m、直径約615m、一周で約2025m（2025年に因んで）あるらしい。エレベーターで登って上部のスカイウォークを歩いてエスカレーターで降りた。

変わった建物を見るだけでも面白い（写真⑨）が蒸し暑く、午後になると時々晴れたりするのでさらに暑かったです。ほとんどが完全予約制パビリオンなので予約なしで入れるところは長い行列。何時間も待つと熱中症必発です。

ネパール館がほとんど待たずに入れました。ネパールは多民族・多宗教国家でヒンドウ教徒80%と仏教徒11%等で、展示はほとんど仏さん、神さんとお寺や仏具でした（写真⑩）。

夕方西ゲートの方へ戻ってきたら大屋根リングの上に大きな虹が出ていました（写真⑪）。何かええことがあるかもしれないと思います。会場内でやや高額の夕食を摂って帰宅しました。

台風による大雨とその後の蒸し暑さとの闘いで2万歩余り歩き、何だか「修行」のような一日でした。



写真⑨
ヌルヌル：メディアアーティスト落合陽一氏がプロデュースした。不可解なパビリオン。



写真⑩ ネパール館内の展示物。



写真⑪
夕方には虹が出た。何かええことあるかも。
下方に木造大屋根リングの一部と右端にオレンジ色の丸い吉本館が見える。

Ⅲ. 2回目。実はその後、閉会式の前日10月12日（日）にも万博へ行きました。キャンセル待ちの観光バスツアーに申し込んで、ダメだと思っていたら10日ほど前に空きが出たみたいです。今回は夕方4時からの入場で、パソナ館の入場確約付きでした。PASONA NATUREVERSE（パソナ ネイチャーバース）とはパソナ（会社名）とネイチャー（自然）とユニバース（宇宙）の合体した造語です。

指定された時刻にパソナ館の前へ集合(写真⑫)。ツアーの団体さんは30分も待たずに入場できました。人類のため戦って壊れた鉄腕アトムに、ブラックジャックがiPS細胞から作った心臓を移植して、ネオアトムとして復活させるという筋書きでした。iPS細胞から作成した自律的に動く心筋シート(写真⑬)と人工心臓(写真⑭)が赤い培養液のなかに吊り下げられていました。前者は自律的に収縮と弛緩を繰り返しているのが良く分かりますが、後者は3.5cmくらいの大きさで、よく見ると何とかヒクヒク小刻みに痙攣している感じです。しかしこんな心臓では鉄腕アトムの出力10万馬力(後に100万馬力)はおろか1馬力も出ないでしょう。ネオアトム再生のストーリーにはちょっと無理があると思います。



写真⑫

パソナ館入場待ち。アトム像と記念撮影。屋根の上右端のアトムは淡路島の方を指差している。

いずれにせよ私にとって印象的だったのは、前回の大阪万博では「月の石」で今回は仕事が医療関係なので「iPS心筋シート(心臓)」でした。



写真⑬

iPS心筋シート。動きは分かりやすい。すでに臨床応用されている。



写真⑭

約3.5cmのiPS人工心臓(のようなもの)。よく見ると少し動いている。

Ⅳ. 最後に総括。今回の大阪万博は建築費が高い、建築費未払いの国がある、未完成のパビリオンもあるなど開催前の評判はもうひとつでした。

開催後は会場内でのメタンガス発生、爆弾を仕掛けたといういたずら電話、万博への唯一の鉄道路線の地下鉄中央線が停電し大勢の来場者が会場内で1夜を明かすなどいろいろ難問題が発生しました。

一方で7月以降から入場者が増え、10月閉会時点で来場者2500万人以上、250億程度の黒字の見込みということです。あのマクマクも大変な人気が出てきて、そのグッズを買うための長蛇の列が続いていました。黒字の一端を担って売れ行き好調なので、閉幕までの販売予定を来年3月末まで延長するようです。今回の万博は私もあまり興味がなかったのですが、私の出身高校の同級生がiPS心筋シートの開発者（写真⑮）であることやセキュリティ業務のスタッフとして働いていたことなど、放っておけない、ちょっと気になる万博でした。体力的にはきつかったけど何とか一目見ることが出来て良かったと思っています。

最終的には難問題も大過なくほぼ解決し無事閉幕しました。さらに黒字であったことで「成功」と言えるのではないのでしょうか。2025年大阪万国博覧会万歳！



写真⑮ iPS心筋シート開発者澤芳樹先生（講演中）

矢野荘れんげ米作り

院長補佐 西田 英之

東寺領矢野荘の地での「れんげ米」作り。れんげは空気中の窒素を土壤に固定します。それを有機肥料として利用し、化学肥料を減らし味のいい米を作る昔から伝わる農法です。れんげ米は手間がかかるのであまり作られていませんが、私は味に魅せられて作り続けています。

JA兵庫西では、人と環境にやさしい農業を目指しています。

生育過程	育苗期	分げつ期	幼穂形成期	出穂期	登熟期	収穫期
月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~ 4月
水管理	深水	深水	中干し	深水	十分の深水	深水
キヌヒカリ	栽培管理の要点 (代かき前) 苗土準備 基肥	田植え (代かき後) 追肥 (追肥) 追肥	中干し (中干し) 中干し (中干し) 中干し	出穂 (出穂) 出穂 (出穂) 出穂	収穫 (収穫) 収穫 (収穫) 収穫	土づくり (土づくり) 土づくり (土づくり) 土づくり
水管理	深水	深水	中干し	深水	十分の深水	深水
きめむすめ	栽培管理の要点 (代かき前) 苗土準備 基肥	田植え (代かき後) 追肥 (追肥) 追肥	中干し (中干し) 中干し (中干し) 中干し	出穂 (出穂) 出穂 (出穂) 出穂	収穫 (収穫) 収穫 (収穫) 収穫	土づくり (土づくり) 土づくり (土づくり) 土づくり
水管理	深水	深水	中干し	深水	十分の深水	深水
ヒノヒカリ	栽培管理の要点 (代かき前) 苗土準備 基肥	田植え (代かき後) 追肥 (追肥) 追肥	中干し (中干し) 中干し (中干し) 中干し	出穂 (出穂) 出穂 (出穂) 出穂	収穫 (収穫) 収穫 (収穫) 収穫	土づくり (土づくり) 土づくり (土づくり) 土づくり

① 稲の生育過程表。最近は高温障害を考慮して収穫の遅いヒノヒカリを作っています。



② 5月初旬、満開のれんげ。



③ 満開のれんげを耕し、有機肥料に。

④田植え数日前に土をかき混ぜて表面を平らにする代かき。保水のためにも代かきは丁寧に行います。



⑤いよいよ田植え。籾蒔きから30日程の箱苗を一反（10a）当たり18箱前後植えます。同時に施肥と除草剤散布も田植え機がやってくれます。

⑥田植え機で植えられなかった所は手植えで。この作業をさし苗と言います。（初体験にしては完璧!!）



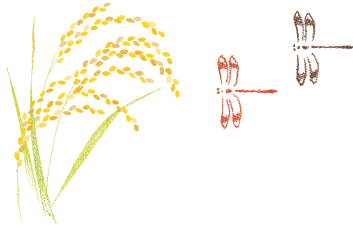
⑦月一回の畔や水路の草刈りも大切な作業です。



⑧病害虫の予防にはドローンを使います。



⑨出穂(しゅっすい)。穂が出そろって白い花が一斉に咲きます。田植えをしてから早稲(わせ)は50日、晩稲(おくて)では約80日に穂が出ます。



⑩中秋の名月の稲刈り(2025.10.6)。出穂から40日を過ぎ、台風やトビイロウンカの被害もなく黄金色に染まった田圃。待ちに待った稲刈り。コンバインは刈り取り、脱穀、稲わらのカットを高速処理。(刈り取りから米の袋詰めは友人にやってもらいます)



⑪刈り取った籾は軽トラで運びます。収穫をした籾は20～30%の水分があるので速やかに14%位まで乾燥、籾摺り、米選、袋詰めとテクニカルな工程が続きます。

⑫れんげを蒔いてから1年、田植えから4か月で収穫。精米したての新米はやはり美味しい。今年の収穫量は10a当たり520kgでした。私の地区では50軒あった米作農家が10軒に減少。採算面でも兼業農家も進んでやれる農政を望むばかりです。

(米の収穫量・・・ふるい目幅1.70mmで選別した飯用の玄米が10a当たり540㍑収穫が統計でよく使われる数字ですが、田圃が粘土質か砂質か、水利条件の良悪、その年の天候・病害虫も大きな影響を与えます。私の場合は、2020年はトビイロウンカの被害、2019・2021はゲリラ雷雨等による倒伏で収穫量は半減でした。)



第75回日本病院学会参加報告

肝疾患対策チーム 小野 慎也

去る令和7年7月24日（木）・25日（金）、出島メッセ長崎を会場として開催された第75回日本病院学会に、総務課振角さん・深澤課長・診療情報管理課黒岩主任の4名で参加させて頂きました。相生から山陽・九州・西九州新幹線（一部在来線特急）を乗り継ぎ終点長崎です。以前に長崎を訪れたときは博多から在来線特急で長崎までと遠い印象で、また長崎駅も古くレトロな印象でした。現在は西九州新幹線の開通で近くなり、長崎駅も様変わりしていました。

今回の学会テーマです。

飛翔

ポスト2025ー地域生活を支える病院医療のあり方ー
西洋医学発祥の地「長崎」からの発信

当院からは2演題発表です。

「肝炎医療への多職種連携の取り組みについて」

「HII播磨病院における節電の取り組み

ー使用電力量の削減を目指してー」

どちらの発表も座長以外の方からも質問がありました。振角さんの発表には、施設管理担当者からの質問もあり、事務職を含め多職種が集う病院学会のよさを感じました。

また、拝聴した特別公演です。

特別公演「夢持ち続け日々精進」

演者：高田 明 株式会社 A and Live 代表取締役

（株式会社 ジャパネットたかた 創業者）

テレビでおなじみの通販番組での甲高い声でのアナウンスは影を潜め、落ち着いた声での公演でした。ジャパネットたかた創業当初から現在に至るまでを笑いを取りながら話されました。御年齢よりかなり若く、バイタリティあふれる印象で、演題どおり現在においてもなお日々精進されている結果の成功と感じました。

次に、少し観光をと出島を訪れました。出島は現在では周りを道路や建物で囲まれており海から出た島ではなく、知らずにあたりを通ると気付かないと思いました。この小さな出島が、「西洋医学発祥・西洋文化伝来」の地であり、感慨深いものでした。



トルコライス

長崎グルメといえばトルコライスということで、出島にあるレストランで昼食に頂きました。とてもおいしく頂きました。食事中に地震があり、さらに印象に残るグルメとなりました。

次回の第76回日本病院学会は京都で開催されます。今年の院内総合学習発表会で発表予定の方、頑張ってください。

最後に学会参加の機会を与えて頂き感謝申し上げます。



会場



病院学会ポスター



集合写真